



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年10月28日

上場取引所 東

上場会社名 神戸電鉄株式会社

コード番号 9046 URL <https://www.shintetsu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺田 信彦

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部 部長 (氏名) 坂本 義之 TEL 078-576-8671

四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	10,337	4.0	949	51.4	742	96.8	588	109.3
2022年3月期第2四半期	9,940	—	627	—	377	—	281	—

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 580百万円 (129.2%) 2022年3月期第2四半期 253百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	73.22	—
2022年3月期第2四半期	34.97	—

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を前第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年3月期第2四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、対前年同四半期増減率は記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	89,661	21,206	23.7
2022年3月期	92,351	20,626	22.3

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 21,206百万円 2022年3月期 20,626百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,640	5.5	1,500	40.8	930	42.6	590	13.7	73.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	8,061,566株	2022年3月期	8,061,566株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	25,023株	2022年3月期	24,592株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	8,036,810株	2022年3月期2Q	8,037,591株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法について）

決算補足説明資料はTDnetで同日開示するとともに、当社ホームページにも掲載することとしています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
3. 運輸成績	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が続くなか、行動制限の緩和等により社会経済活動に回復の兆しが見られるものの、不安定な国際情勢によるエネルギー価格及び原材料価格の高騰や急激な円安の進行など、先行きに不透明感が続く状況で推移しました。

この間、当社グループにおいては、各部門において増収やコストの削減に努めた結果、当第2四半期連結累計期間の業績は次のとおりとなりました。

すなわち、営業収益は10,337百万円となり前年同期に比べ397百万円(4.0%)増加、営業利益は949百万円となり前年同期に比べ322百万円(51.4%)増加、経常利益は742百万円となり前年同期に比べ365百万円(96.8%)増加、親会社株主に帰属する四半期純利益は588百万円となり前年同期に比べ307百万円(109.3%)増加しました。

当第2四半期連結累計期間のセグメント別の概況は次のとおりであります。

運 輸 業

鉄道事業においては、「安全の絶対確保」を図るため、安全管理体制のさらなる整備・充実に取り組んだほか、「鉄道軌道安全輸送設備等整備事業」等の補助を活用しながら、軌道の強化等の工事を推し進め、運転保安度の一層の向上に努めました。また、有馬線花山駅においては、駅舎のリニューアルとともにスロープ及び多機能トイレを新設するバリアフリー化工事を、有馬線大池駅においては、上りホーム側駅舎のリニューアル工事を進めております。

営業活動については、当社沿線への旅客誘致を図るため、2022年8月に株式会社ミックウェアとビジネス共創のパートナー契約を締結し、沿線の歴史上の人物や史跡にまつわるエピソードを紹介するスマートフォン用アプリ「たまむすびTM」を利用したサービスを開始し、それに合わせて、1日フリー乗車券を発売しました。

また、駅舎と駅周辺の土地の活用を図る「#駅活~Challenge~」やアウトドアを通じた当社沿線の地域活性化を図る「KOBE Rail&Trail」等の沿線自治体や地域の皆様と連携したプロジェクトを推し進め、沿線の活性化や鉄道の利用促進に取り組んでおります。

バス事業においては、企業や学校の貸切送迎業務をはじめ積極的な営業活動を展開し、増収に努めました。

タクシー業においては、乗務員の採用に注力し、稼働率の向上に努めました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の運輸業の営業収益は6,104百万円となり、前年同期に比べ590百万円(10.7%)増加し、営業利益は470百万円となり、前年同期に比べ358百万円(319.6%)増加しました。

不 動 産 業

土地建物賃貸業においては、当社が保有する賃貸物件へのテナント誘致を進めるとともに、2022年9月に収益の拡大を図るため新規物件(兵庫県伊丹市)を取得し賃貸を開始しました。

また、神戸市及び神戸市道路公社から管理運営業務を受託している「神戸市立三宮駐車場(神戸市中央区)」他5施設について円滑な運営に努めるとともに、さらなる受託拡大に取り組んでおります。

しかしながら、2021年6月に販売土地を売却した影響等により、当第2四半期連結累計期間の不動産業の営業収益は982百万円となり、前年同期に比べ46百万円(4.5%)減少し、営業利益は451百万円となり、前年同期に比べ33百万円(6.8%)減少しました。

流 通 業

食品スーパー業においては、青果部門を中心とした生鮮部門の品揃えを強化するなど、販売促進策を各店舗で積極的に展開しました。また、2022年4月に移動スーパー「とくし丸」の運営を開始するとともに、5月に「神鉄食彩館北鈴店(神戸市北区)」のリニューアルを行うなど、収益の拡大に努めました。

コンビニ業及び飲食業においては、各店舗で増収に努めました。

しかしながら、エネルギー価格や食料品価格の高騰に伴う消費者の買い控え傾向、競合の激化等により、当第2四半期連結累計期間の流通業の営業収益は2,442百万円(前年同期比7.4%減)となり、営業損失は24百万円(前年同期は営業利益14百万円)となりました。

そ の 他

保育事業及び健康事業においては、駅に近接する各施設の強みを活かしてご利用者の増加に努めました。

建設業においては、当社グループ外からの受注拡大に努めました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間のその他の営業収益は1,406百万円となり、前年同期に比べ51百万円(3.8%)増加し、営業利益は38百万円となり、前年同期に比べ22百万円(137.5%)増加しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、流動資産が減少したこと等により前連結会計年度末に比べ2,690百万円減少の89,661百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、買掛金が減少したこと等により前連結会計年度末に比べ3,269百万円減少の68,455百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い、利益剰余金が増加したこと等により前連結会計年度末に比べ580百万円増加の21,206百万円となり、自己資本比率は23.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年5月12日発表の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,262	1,229
受取手形及び売掛金	1,284	966
短期貸付金	69	74
販売土地及び建物	279	279
商品	121	120
貯蔵品	396	475
その他	2,576	1,055
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	5,988	4,200
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	41,519	40,832
機械装置及び運搬具(純額)	5,434	5,131
土地	34,691	34,923
建設仮勘定	240	402
その他(純額)	551	544
有形固定資産合計	82,436	81,833
無形固定資産		
その他	577	539
無形固定資産合計	577	539
投資その他の資産		
投資有価証券	1,126	825
長期貸付金	352	311
退職給付に係る資産	1,419	1,518
その他	468	448
貸倒引当金	△17	△17
投資その他の資産合計	3,348	3,087
固定資産合計	86,362	85,461
資産合計	92,351	89,661
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,692	725
短期借入金	29,298	26,144
未払法人税等	91	143
前受金	975	782
賞与引当金	49	58
その他	2,634	2,924
流動負債合計	35,741	30,779
固定負債		
長期借入金	29,539	31,382
繰延税金負債	255	286
再評価に係る繰延税金負債	3,471	3,471
退職給付に係る負債	108	112
長期未払金	812	715
長期預り保証金	928	928
その他	866	778
固定負債合計	35,982	37,676
負債合計	71,724	68,455

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,710	11,710
利益剰余金	6,974	7,562
自己株式	△88	△89
株主資本合計	18,596	19,183
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	250	253
繰延ヘッジ損益	0	0
土地再評価差額金	1,503	1,503
退職給付に係る調整累計額	275	264
その他の包括利益累計額合計	2,029	2,022
純資産合計	20,626	21,206
負債純資産合計	92,351	89,661

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業収益	9,940	10,337
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	8,043	8,125
販売費及び一般管理費	1,268	1,263
営業費合計	9,312	9,388
営業利益	627	949
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	15	18
受託工事事務費戻入	3	76
雑収入	99	27
営業外収益合計	119	122
営業外費用		
支払利息	293	280
雑支出	76	48
営業外費用合計	369	329
経常利益	377	742
特別利益		
工事負担金等受入額	—	12
特別利益合計	—	12
特別損失		
工事負担金等圧縮額	—	12
特別損失合計	—	12
税金等調整前四半期純利益	377	742
法人税、住民税及び事業税	47	122
法人税等調整額	49	31
法人税等合計	96	153
四半期純利益	281	588
親会社株主に帰属する四半期純利益	281	588

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	281	588
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8	3
繰延ヘッジ損益	△0	△0
退職給付に係る調整額	△18	△10
その他の包括利益合計	△27	△7
四半期包括利益	253	580
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	253	580
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）
報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	運輸業	不動産業	流通業	計				
営業収益								
(1) 外部顧客への営業収益	5,505	909	2,633	9,048	891	9,940	—	9,940
(2) セグメント間の内部営業収益 又は振替高	8	118	4	131	463	595	△595	—
計	5,514	1,028	2,638	9,180	1,355	10,535	△595	9,940
セグメント利益	112	484	14	610	16	626	0	627

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保育事業及び健康事業並びに建設業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額0百万円は、主にセグメント間取引であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）
報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	運輸業	不動産業	流通業	計				
営業収益								
(1) 外部顧客への営業収益	6,095	879	2,437	9,412	925	10,337	—	10,337
(2) セグメント間の内部営業収益 又は振替高	9	103	5	117	481	599	△599	—
計	6,104	982	2,442	9,530	1,406	10,937	△599	10,337
セグメント利益又は損失(△)	470	451	△24	897	38	935	13	949

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保育事業及び健康事業並びに建設業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額13百万円は、主にセグメント間取引であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 運輸成績

		当第2四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	前第2四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	増減率
輸 送 人 員		千人	千人	%
	定 期 外	8,734	7,161	22.0
	定 期	17,653	17,048	3.5
	計	26,388	24,210	9.0
旅 客 収 入		百万円	百万円	%
	定 期 外	2,025	1,663	21.8
	定 期	2,041	1,995	2.3
	計	4,067	3,658	11.2

(注) 輸送人員は千人未満を、旅客収入は百万円未満をそれぞれ切り捨てて表示しております。